

第三回 茅ヶ崎市地域公共交通会議（1/28） 会議録要旨

（１）コミュニティバス北部循環市立病院線の運行改善について

- ・小出地区での予約型乗合バスの導入について、検討経過を報告した。
- ・小出地区住民の要望として、茅ヶ崎駅への直接の乗り入れや、藤沢市（ライフタウン周辺）への乗り入れの要望が強い。予約型乗合バスは将来的には地区外への乗り入れも検討するが、まずは小出地区内での導入を想定しているため、予約型乗合バスの利用方法や路線バス、コミュニティバスとの乗継ぎ利便性を含め、地区での更なる理解が得られるよう説明会等で周知を図っていくこととする。
- ・予約型乗合バスは、路線バスやコミュニティバスとの乗継ぎ利用が前提となり、高齢者にとっては移動の快適性が重要となるため、乗継ぎを想定する乗合所での待合空間の整備は優先順位を高くする必要がある。
- ・乗合所の配置検討は、地区内の住宅全体からアクセス可能、乗継拠点の配置などの前提条件を重視し、住民にとって必要となる箇所を残すなどの考えをもとに検討を続けていく。

（２）コミュニティバス東部循環市立病院線（小和田・松浪コース）の運行改善について

- ・小和田・松浪コースの運行改善については、目的地となる施設が茅ヶ崎市立病院のみであり、鉄道駅へのアクセスが必要という課題を受け、伍二原踏切から辻堂駅西口へのルートを経由して辻堂駅西口へアクセスする改善案を提示し、会議として了承を得た。
- ・小和田・松浪コースの改善による既存バス路線への影響が懸念されるため、運行改善はまず実証運行という形で実施し、運行改善後の利用者数の変化や既存バス路線への影響を検証しながら、本格再編への移行について判断する。
- ・小和田・松浪コースの運行本数については、今回了承された改善を実施する中で、利用者数の変化等を把握しながら検討していくこととする。

（３）平成 25 年度茅ヶ崎市生活交通改善事業計画（バリアフリー化設備等整備事業）（案）について

- ・平成 25 年度におけるノンステップバス車両の導入を提案し、会議として了承を得た。

（４）茅ヶ崎駅北口周辺地区の交通環境の改善について

- ・茅ヶ崎駅北口周辺地区での交通環境の改善について、今後の取り組み内容を示した。
- ・交通環境の改善では、ハード面での整備等ではなく、限られた空間を活用したソフト的な対策を検討していく。
- ・駅周辺での通行に時間を要することは利用者にとって損失となるので、バスが遅れる具体的な要因など、定量的な実態把握を検討していけるよう希望する。